

近着石刻関係書所収元代石刻リスト (2003)

森田 憲司

最近の中国では、石刻関係書が多数刊行されている。それらは主として地域を単位とした資料集であるが、そこには、従来未紹介、あるいは拓影や写真が初出のものが少なくない。ここでは、近刊の石刻書のうちから、元代石刻の拓影や写真、あるいは録文を掲載するものを紹介する。今回は、2003年刊行のものを、2004年7月入手分まで掲載した(書名順に排列)。ただし、『済南歴代墓誌銘』は、あまり知られていないと思われるので、2002年刊行ではあるが、対象とした。

済南歴代墓誌銘(黄河出版社 可愛的済南叢書 2002)

いずれも録文と注あり

- 金故承事郎京兆尹録事判官杜公(忱)墓誌銘(定宗2年) 60年代出土
- 大元故莒密塩使司判官王公(深)墓誌銘(至元30年) 早年出土 拓本図版(蓋とも)
- 故都統劉公(海東)墓誌銘(大徳2年) 1990年発見
- 元故崔顛墓誌銘(元統3年) 1992年発見
- 大元榮禄大夫商税中書平章政事張公(友諒)墓誌銘(至正15年) 1993年出土
- 有元故従仕郎河間路齊東県尹致仕蔡君天祥(祐)墓誌銘(至正13年) 1978年出土 拓本図版(蓋とも)

咸陽碑刻(三秦出版社 2003 上下2冊)

すべて、拓本と録文あり

- 延壽宮図(中統2年)
- 創建大道迎祥宮碑(至元17年)
- 道録張公法師(徳琳)墓誌(至元29年)
- 少中大夫四川道宣慰副使僉都元帥府事郝公(天澤)墓誌銘(大徳9年)
- 故承事郎晋寧路同知解州事徐公(寛)墓誌銘(大徳10年)
- 西行記(至順3年)
- 創修妙覺禪院碑記(至正14年)

洪洞介休水利碑刻輯録(中華書局 2003)

録文、訓点、注記(かなり丁寧)あり

- 重修明応廟碑(至元20年)
- 重修明応王殿之碑(写真あり)、碑陰・助縁題名之記(延祐6年)
- 北霍渠彩絵東壁記(泰定元年)
- 北霍渠彩絵西壁記(泰定元年)

祭霍山広勝寺明応王殿祈雨文（至正 27 年）
河村新潤濟侯廟記（至元 2 年、介休県志より）

新中国出土墓誌・北京 [壹]（文物出版社 2003）

本書所収の石刻の数は、遼が 8、金が 12、元が 11 で、ちなみに、明は 275、清は 34、民国は 8。この本については、本号に「北京石刻関係書 2 種所収石刻細目」と題して森田目録をベースにしたものを掲載しているのので、参照されたい。

中国長江水下博物館一白鶴梁題刻（重慶出版社 2003）

長江の上流、重慶市の涪陵区の北江の白鶴梁には、水中に唐代から今日に至る 174 の題刻があり、元代のものは 5 つとのこと。紹介されている元朝題刻は次のとおり。

至大辛亥（4 年） 萬州知州安国題刻 写真・拓影・録文

至順癸酉（4 年） 張八歹題刻 写真、録文

パスパ字 6 字の題刻（写真・拓影）

北京市文物研究所蔵墓誌拓片（北京燕山出版社 2003）

元の石刻は 6 点所収。この本については、本号に「北京石刻関係書 2 種所収石刻細目」と題して森田目録をベースにしたものを掲載しているのので、参照されたい。

濮陽碑刻墓誌（中州古籍出版社 2003）

拓本、録文、解説がつく、いずれも現存

雲峰寺碑記 下半分のみ残存、この本では至元 5 年とするが、少なくとも至正 2 年以降

静楽処士馮公（善）墓誌（至正 14 年）

大元贈敦武校尉軍民萬戸府百夫長唐兀公碑銘并序（至正 16 年）

洛陽名碑集釈（朝華出版 2003）

いずれも、移録、拓影あり

金故少中大夫御史程君（震）墓碑（中統 4 年）

※碑陰に「程氏先塋之図」、「両程氏世系図」

大元勅賜河南行省參知政事張公（思忠）神道碑（至元 6 年、正確には後至元）

洛京猴山改建先天宮記（至元 15 年）

重興新安洞真觀碑（至大 2 年）

投龍簡記（延祐元年）

皇元贈大司空晋国公少林大宗師裕公（福裕）神道碑銘（延祐元年）

皇元故宣武將軍珊竹公神道之碑銘（泰定 3 年）

元贈嘉議大夫礼部尚書清河郡公張公（恩）神道碑銘（致和元年）
洛京白馬寺祖庭記（至順4年）
息庵禪師道行之碑（至正元年）
大元重建蕭梁達磨大師道行之碑（至正7年）

雑誌関係

『文献』2003年2期、延保全「大元制誥特贈碑与鄭鼎」
陽城県に現存する皇慶元年の聖旨合璧碑の紹介。

『文物』2004年1号、「西安東郊元代壁画墓」

至元26年の比較的長文の売地券が出土。写真や拓本はなく、摹本を掲載。墓主は、
どうやら無官のよう。

『文物』2004年3号、「河北涿州元代壁画墓」

神位型の墓誌、しかも裏には系譜、が同葬されていただけでなく、壁画の中にも故人についての壁記がある。こうしたものは、当時普通に存在したかと思われるが、これだけ揃って出土するのは珍しいのではないか。同誌には、これらすべての録文が掲載されている。

（もりた けんじ 奈良大学）